

日本大學幼稚園に於ける口腔衛生の現況(一)

日本大學歯科ドクトル 水間盛三郎

一、緒言

茲に述べんとする處のものは、昭和三年二月より吾が日本大學に依て經營せる日本大學幼稚園（府下杉並町天沼三三〇所在、園長山田仲子女史）に於ける口腔衛生普及に對する現況なり、勿論現況に達するの經過に於て必要なりと信じたる處をも附記して御参考に供したり。

所謂學校口腔衛生の緊要なるは喋々論ずるの要なく、寧ろ釋迦に說法の類を免がれざるものなれ共、之より更に一步を進めて小學校入學以前の兒童、即ち幼稚園時代に於ける兒童に口腔衛生に對若し一人にても強制的に歯科的處置を成され、

する觀念、印象、實習を課して口腔狀態を可良ならしむるは、獨り兒童の身神の可良なる發育を補助するの一助たるのみならず、適當なる口腔衛生的習慣を涵養し、以て將來の福利を得るの一方法であると信ずるものなり。其手段方法が如何に優秀であるにしても、之を強制的に採る時は却て逆の結果、即ち家庭に於ては全く之を履行せず、幼稚園に於ても御役目的に「ゴマカシ」を成される事を想像するが故に、最も自由型に印象附け、説明、無言の實示、を以て兒童自ら進み採用する様指示するの法を用ひて進み來れり。

而も疼痛にても在りしなれば、其苦痛の状態は時を移さず園児全體に體験の結果が報告せられ、やはり少數の幼稚園内全員は必ず歯科的處置を全く嫌悪するに至る事は實に火を見るより明かであり、且將來に對し深き印象を残し、歯科的處置を恐怖し多少の説明を以てするも之を、ガエンゼズ信用を回復するに莫大なる時日と努力を要するや必せり。

児童の口腔に就て常に論議される處のものゝ一は、六歳臼歯即ち永久第一大臼歯なり。永久第一大臼歯の健全なる發達を望む爲めには、生後七八

ヶ月頃より營養に特に注意を要する事は勿論ながら、乳歯永久歯共に口腔衛生の立場から幼稚園時代よりの適當なる注意が最も肝要ならん。健康であつて營養可良にして第一大臼歯亦堅實なる形態に於て萌出して来るも、第二乳臼歯が齶蝕にて崩壊せる時は、明かに其間に汚物を容易に停滞せし

め、清掃を困難ならしめ、其他の條件も手傳ひて第一大臼歯の早期に齶蝕に罹患せるは吾人の日常經驗する處のものであり、亦融合不全の發育溝の存するものに氣附かずに放置するに於ては、茲よりして容易に齶蝕の出現を來し、小學校入學前既に六歳臼歯破壊せる如き結果を見ざるを得ざることを思意するものなり。之等の事を綜合して生ずる處のものは即ち幼稚園々兒の口腔衛生の緊要と言ふ事であつて、逆に考へるなれば、即ち治療豫防の方法の講じられる最初の團體は幼稚園であると言ふ事になるべし。

幼稚園に於て歯科的設備を備へて歯科學的豫防方法、治療、充填等を實施して居るのは小生の寡聞であるかも知れざるも、本幼稚園を以て日本最初の試みならんと思考す。それ丈に設備や實施の方法に於て充分の考慮と努力を必要とする如くに感じ居れり。故に茲にも特に幼稚園の口腔衛生の

現況として發表するに際し其最初からの經過も附記したる所以なり。

二、設備

五拾人、七拾人と多數の園児の下足から辨當迄

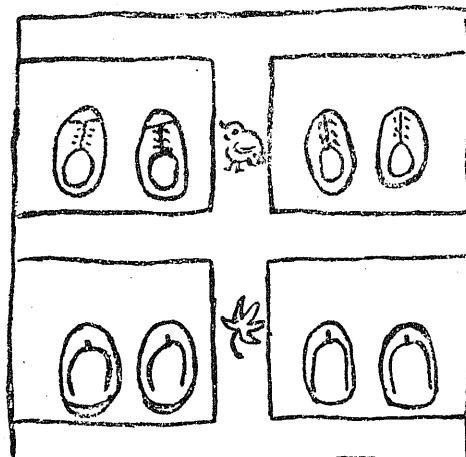
一八

一々記憶する事は保母に對しての可なりの重責であり免倒も併ふものなれば、之に番號を附しても四歳、五歳、六歳の児童にては之を會得する者極めて少數なれば、之に就て本園にては園児に最も記憶し易き方法として児童の常に見聞せる材料の形態を色紙にて切抜き

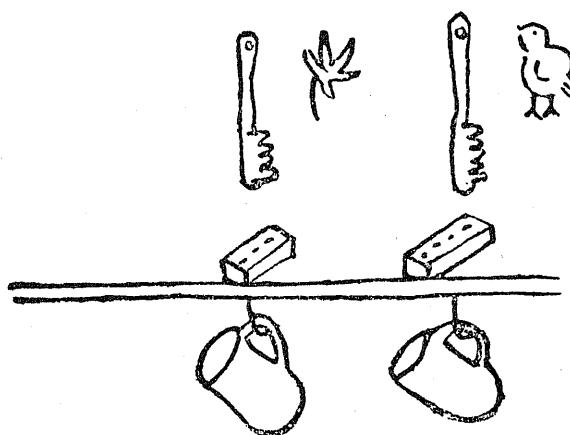
第一圖に示せる如く下足箱の縁に之を貼布し、目標とせしめたり、而して下足の標にて、

例へば桃色紙にて切抜きたる櫻なれば辨當箱にも外套掛にも此の標を附し、第二圖に示せる歯刷子、歯磨、コップの置場も同一標を以てして、他人のものと

第一圖



第二圖



混交するを防ぎたり、園児好く之を記憶して自ら己の所有品使用品の所在を知り、其處に獨自にて行きて使用出來得る如くしたり、之れ多人數なる團體にて其各人園児の如き年少者に最も適せる標示法なる可し。

歯科的設備にて最初に意を注ぎたるは洗口場之なり、洗口場は廊下に之を設け、壁に添ひて幅一尺二寸、長さ貳間のものと同幅長さ一間のものと

を『トタン』にて内面を張りて園児の手洗、洗口に適當なる高さに之を裝置したり、此の洗ひ場の直上に床上約三尺五寸の位置に幅三寸長さ洗ひ場の全長に亘る小さき棚を設け、此棚の上面には『ライオン煉歯磨』を置き、其直上には『ライオン歯刷子兒童用』を釘に掛けたり、歯刷子に接して第二圖に示せる如く濃茶色紙紅葉の如き、黃色の菊紅色の櫻の如き切抜き前述の下足と人名に一致したる標を附し他の兒童用との混交を避ける可く裝置

したり、棚の下面にて磨歯劑の直下には彎曲釘を打ちて『コップ』掛に便せり、以て歯刷子、磨歯剤、コップと三品を縦列に、口腔清掃の用品を同一場所に裝置したり、之れ設備の第一である。

次に歯科診療室の設備であるが之は殆んど小學校等に於ける診療設備と殆んど相似たるものをしてせり、今其品目を参考迄に列舉せば次のもの在り。

兒童用治療椅子一臺、スピツトン、ブラックケット、キャビネット、歯科用足踏エンドン一臺、煮沸消毒器、藥瓶及臺（十二ヶ附）汚物籠、綿花入、氣銃、水銃、注射器、及針、拔歯鉗子五丁、エレベーターハンドル、歯齦鋸、歯齦用ランセット、セメント練板及セメント、アマルガム及研和器、歯鏡、ピンセット、探針、クレンザー、ブローチ、リード、エキスカ、チゼル、ハツチエツト、デスマード、クレオイド、練製充填器、アマルガム充填

器、酒精ランプ、金屬製コップ、バー、ストーン、
ワックス、ストッピング、咬合紙、研磨器、綿花、
薬品、ガーゼ、其他、ボスター數枚。

三、園児に對する最初の試み

(面白きあ話し其一) おみかんの食べ方。

園児を講堂兼室内遊戯場に集めて圓形に整列せしめ、園長よりの紹介の許、園児の前に立ち、

ホーミんな良い子ですね、そして大變元氣ですね、今日は皆んな喰を喰べたんですね、こんなに良い子になつてお行儀をよくして！ 先生、ビックリしちやつたんですね。皆んな山田先生の言ふ事を良く聞くんですね、先生の言ふ事をよく聞かない兒はお顔がちがひますね、一人か二人ありますよ時々だらをコネル人が！ ハハ、これから皆んなかく聞くんですね、皆んなのお顔がよくなりましたね、おとなしい元氣ない、兒になりましたね、先

生は今日茲に始めて來たんですね、そうして皆んなと會ふのも今日が始めてですが、之から先生は時々茲に來ていろ／＼面白いお話ををして聞かせませう、今日も何かお話ををして聞かせませうか？ タイ焼のお話をしませうか？ みつ豆のお話をしませうか？ 何がいゝでしようね、オ、ソウ／＼おみかんのお話をしませう、皆んなおみかんを知つて居るでしよう！ お店にも澤山あれば、おうちにも澤山ありますね、おみかんを喰べた事のある人手を擧げて御覽なさい、皆んなおみかん喰べましたね、おみかんはどうやつて喰べますか？ 皮のまゝ喰べますか？ (笑聲起る) そうち／＼むいて喰べるでしよう、お手々でむきますか？ あんよでむきますか？ そうち／＼手々でむきますね、皮をむいたらどうします、袋を手でつまんで喰べますね、(喰べる眞似をする、それで皆んな先生を見て！) 此のお手々が汚

れて居たらおみかんの袋と一しょにパツチがあ
口の中からお腹の中に入りますね、そうすると夜
になつて真暗な時にお腹が痛くなりますが、お腹
が痛いとあした皆さんと一緒に遊べなくなります
ね、だから皆んなは何でも喰べる前にお手々をよ
く洗つて食べませうね、お弁當を食べる前も、朝
ゴハンを食べる前も、お手々を洗ひませうね、晩
の御飯を喰べる前も矢張り洗はなくちやいけませ
んね、洗はなかつたらあしたお腹が痛くなります
よ、皆んな何か喰べる前には屹度御手々を洗ひま
すか？ そう洗ひますね、みんな好い子ですもの
ね、お手々を洗はなければいい子にはなれません
ね、それでは今日はこれでお終ひ、此次にはもつ
と面白いお話をいたしませう、もう七ツ寝たら
来ますよではさようなら。

此の話しの後園長に話して希望者二三に最初辨
當前に手を洗はせ「あゝ誰れそれさんは先生の御

話しの様にお手々を洗つてますよ、あんたも洗つ
て行らつしやい」と言つた方法で漸次手洗賛成者
を募つて、約一週日にして殆んど全員が食事前に
手洗する様に習慣づける事が出来た。

第二回の訪問に於て再び園児にお話しを試み
た。第一回にては前述の様に食事前の手洗ひを
鼓吹して置いたので、今回は次の話を用ひた。
（面白きお話し其二） 桃太郎さんのしくじり

皆んな先生を覺へて居りますか？ 覚へて居る
でしよう！ 此前何かのお話をしましたね、何
のお話しでしたね？ そう～おみかんのお話し
でしたね？ 皆んなお飯を喰べる前にお手々を洗
つて居りますか？ 洗つて居りますね、皆んな良
い子ですね、それでお腹が痛くなかつたでしよう、
お手々を洗つてお飯を喰べたからね、それでは今
日は先生がおみかんのお話しよりもつともつと面
白いお話をいたしませう、何のお話がいいで

しよう？ そう／＼あれが良いでしよう、桃太郎さんのお話し、桃太郎さんを皆んな知つて居るでしよう？ あの強い桃太郎さんね、あの桃太郎さんがしくじつたお話をしませうね。桃太郎さんが何時か鬼ヶ島に行つて鬼を退治して来ましたね、そして其時澤山お寶ものを分捕て來ましたね、金銀さんごをお車につんで犬に引かして歸つて來ましたね、そうするとお爺さんと、お婆さんは大變喜んで一生懸命ごちそうを作つて桃太郎さんに喰べさせましたよ、今日も、明日も、明後日も、桃太郎さんは毎日お駆走を澤山喰べて遊んで喜んで大變いゝ氣持になつて寝ましたよ、何度も何度もそれが續きましたよ、そうして居ると或夜暗い時に桃太郎さんがヒヨット眼を覺めますと、奥歯が痛いんです、それでお婆さんを起して歯が痛いつてそう言ひました、そうするとお婆さんは桃太郎さんのお口を見て居りました、丁度痛ひ歯

の處に「キヤラメル」がついて居ました、そして『カタナ』を持つた『バツチ』が居て『オシツコ』をして居りました、それでお婆さんが桃太郎さんにそう言ひましたら、桃太郎さんは賢い子ですからずぐ大急ぎでお口を歯ブラシで洗つて好く歯を磨いて『ウガイ』をしましたら「キヤラメル」の残つて居るのも『バツチ』も『オシツコ』も出てしまつてお掃除が出来ましたら、段々歯の痛ひのが治つて了ひました。それからは桃太郎さんは毎日毎日朝も晝も御飯を喰べた後や『キヤラメル』を喰べた後も、屹度歯ブラシに歯磨をつけ好く歯を磨きました、そして時々氣をつけて『ウガイ』をしました、一度も忘れた事がありませんでしたので、それからは歯の痛い事がなくなりました、みんなも歯を磨いて『ウガイ』をしませうね、歯が痛いのはイヤだからね、今日はこれでお終ひ、此次は亦又か面白いお話しをしませうね、今日よ

りもつと面白いお話をしませう、さよなら！

で今回は前例に習つて、食前は手洗、食後は含嗽希望者（自ら進んで申出る者）には歯刷子を用ひてもよいと言ふ程度で、食後含嗽する様に勉めて頂きたい旨を園長に述べて其様に計らつて貰つた。

（面白きお話し其三）

•••
お猿さんの忠義

或處に正直な猿廻しさんが居りました、猿廻しさんはお猿さんを大變可愛がつてやらました、そうして何年も何年もするうちに猿廻しさんは年を取つて仕事をする事が出来なくなつて到々病氣になつて床につく様になりました、猿廻しさんは貧乏でお金がありませんでした、それでも猿さんが大變心配してこんな時に平生の御恩返しをしなければならんと決心しました、そして夜猿廻しさんが寝て居る時にそりと抜け出て金儲けに歩きまし、お金を澤山儲けて猿廻しさんにお藥を買つ

てやらうと思つたからです、それでも猿さんは少しもお金が儲りませんでした、それで木の上に昇つて考へて居りましたら、一人の洋服を着た人が大きな鞄を持つて通つて来ましたが、大變疲れ居ましたので其木の下で休みました、そして一人言を言ひました『あゝあ、こんなに賣れないんぢや仕方が無い、會社に此儘歸ろうか』と言つて居りました、それでお猿さんは『あなたは何を賣つて居るんです?』と聞きました、そうすると洋服の人は私はライオン歯磨を賣つて歩いて居りますが、皆んな誰も持つて居るので賣れないから此の歯磨を茲に置いて會社に歸らうかと思つて居ると言ひました、お猿さんはそれでは其歯磨を私に呉れませんかと言ひましたら、其人は喜んで皆さんお猿さんにやらました、それでお猿さんは歯磨を賣つてそれを賣つたお金で猿廻しさんにお藥を買つてやらうと思つて、カバンを持つて賣りに行

きました、一番始めお友達の犬さんの處に行つて買つて来れませんかと言ひましたら、犬さんは毎日使つて居るし澤山持つて居て時にウガイをするからイランと言ひました、それで今度は馬さんの處に賣りに行きました、馬さんも朝と晩、寝る前に歯を磨くから歯は丈夫で歯磨もあるからと言ひました、お猿さんは大變困つて了ひました、それでも猿廻さんはの爲めですから勇氣を出して今度は虎さんの處に賣りに行きました、でも虎さんもライオン歯磨を使つて居るからイランと言ひました、それでお猿さんも考へました、誰かライオン歯磨を使つてない處に行つて賣らなければならんと思つて、二日も三日も歩きましら、今度は大きな鰐魚さんに逢ひました、それでお猿さんがワニさん／＼あなたはライオン歯磨はいりませんか？ と言ひましたらワニさんは、私は何年も歯を磨かなかつたので皆んな歯が齶蝕になつて缺け

て了つて、唯一本殘て居る丈ですと言ひました、これを悪くすると何にも食べられなくなりますから大切にし度ひと言ひました、それでお猿さんは此の歯磨で毎日朝と晩寝る前に磨けば一生丈夫ですと言ひましたら、ワニさんは早速それを呉れと言ひました、お猿さんは上げるけれど澤山お金がいるからと言ひましたら、ワニさんはお金を一錢も持つて居ませんでした、それでも猿さんはそれではあんたは大きくて力が強いからあの山を咬んで粉にして吐き出して下さいと言ひましたら、ワニさんはそれはすぐ出来るからと言つて、山を咬んで粉にして呉れました、お猿さんはその山の粉の中から澤山の金や銀やダイヤモンドの高いものを澤山拾ひ出しましたので、歯磨をワニさんにやつて金や銀を貰つて歸つて来ました、そうして猿廻さんにお薬を買つてやりましたら、猿廻さんは大變喜びました、ワニさんは毎日歯を磨い

て唯一一本でもそれを丈夫にして使ひました。皆さん歯は毎日毎晩磨いて居ると丈夫になつて痛くならないから、毎日歯を磨きませうね、皆んなのうちで歯ブラシを持つて居る人手を擧げて御らんない、歯ブラシで歯を磨く人手を擧げて御らんなさい、ハーハー大分ありますね、幼稚園に歯ブラシが来ましたから、皆んな毎日歯を磨きませうね、そうしてワニさんの様にも掃除をしませうね、そうすると痛くならないから、今日は之でお終ひ、今度はまたほかの面白いお話しをしませう、ではさようなら。

白いお城と黒いお城、等々のお話しを約一ヶ月半乃至二ヶ月間毎週一回宛話して、少し宛口腔衛生的印象をつけ漸次的に園児の前で保母や園長のそれとなしに洗口をして見せる等の法にて口腔清掃に誘導せり。

四、歯刷子に依る口腔清掃

園児をして歯刷子を用ひて口腔を清掃せしむる前に、約一ヶ月半を費して前述の所謂前順備（手洗、含嗽、及夫々の印象）を施し、漸くにして最年長者の數名をして辨當後歯刷子を用ひて口腔清掃を行はしめたり、此數名の者は數日を出でずして煉製チュー入磨歯剤を歯刷子に貼布するに非常に興味を持ち、寧ろ喜んで毎辨當後自ら進んで之を實行するの状態に至りたり。之に従ひて漸次希望者續出し、私しも～と言ふ騒ぎに至り、後には殆んど全員行ふ様になり僅か數名が歯磨剤の味覺に却て不興がりて嫌々ながらの状態にて『ゴマカシ』て済すを見たり、然る後適當なる時機を見て園児全體を集め歯刷子教練を一回施し、更に一週日を経過して再び之を行ひたり。之に依りて六歳、七歳位にて多少共注意深き者殊に女兒

は歯刷子を上下に使用する者増加し來りたるを見たり。

更に興味を引きたるは新入園児にして、在園児が辨當前に手洗し食後歯刷子を使用し含嗽するが故に、皆の成すを見て自ら進んで自分も履行せんと勉めるを見たり、新入園児は普通驚異的態度を持つるを常とする者にして、始めより之を實行せんとする者は比較的少しある、多少其世慣れせる者は、其日より興味を持ちて之を成すを知る、此の歯刷子に依る口腔清掃法は現在に於て園内の日々の行事の一にて、園児全員必ず之を實行せるの状態に至り、殆んど一人の園児も之を實行せざるは無きに迄至れるは、園長及保姆の努力も去る事ながら、今日にては或程度迄習慣性に成れるの傾向として認め得可きものと言ひ得可きか。

五、顔なじみ

園児の如き年少者に對しては所謂顔なじみであり、特別な親しみを持つた氣兼なき友でなければ、其實行も強制的の感が加わりて何等の意味を成さず、如何に努力するも徒勞に歸する事多きは當然考へ得可き事であつて、勉めて親しむ可く一人にても先生！と言つて來る者あれば兎や角の種々の手を盡して之に接し、時には機嫌をとり或時は共に遊び怒ると見せかけて機嫌をとり笑顔を以て接し出來得る限り親しみ深き友となる可く最大の努力を致したり、之れ實に幼稚園或は小學校等に於て診療せんとする時の最も苦心する處のものなる事は疑ひを入れざる可し、眞の理解があつてこそ歯科治療に際し少許の疼痛ありても何とか言覆せるものであつて、相反目するか或は高きに止るに於ては充分徹底的に歯科的處置を施すを得ざるは寧ろ當然の事に屬す、勿論本園に於いても此爲めに幾何の努力を支拂ひたるかは、現在の状態より推察するも難かる可しと信ず。